

船舶事故等調査報告書

平成22年11月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010長第36号	
事故等種類	運航不能（燃料不足）	
発生日時	平成22年1月10日（日） 12時35分ごろ	
発生場所	福岡県大牟田市 三池港北防砂堤灯台から真方位008° 1,920m付近 （概位 北緯33° 01.3′ 東経130° 23.7′）	
事故等調査の経過	平成22年3月23日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	モーターボート <sup>りょうとく</sup> 良徳丸、4.85トン	
船舶番号、船舶所有者等	290-48363福岡、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか友人5人が乗船し、熊本県長洲港沖に向け、福岡県三池港内を航行中、平成22年1月10日12時35分ごろ、燃料タンクが空となって推進機関への燃料油の供給が途絶え、機関が停止して運転不能となった。</p> <p>本船は、118番通報により救助を求め、巡視艇に救助された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 なし</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の初期</p>	
その他の事項	<p>本船の事故当日の出港時の燃料は約30～40ℓで、通常、釣りをを行う際の1日の燃料消費量は約20ℓであった。</p> <p>本船は、通常、水深の浅い福岡県大牟田港沖で釣りをを行い、速力を落とすとして航行していた。</p> <p>事故当日、釣果が悪く、本船は、釣り場移動のため長洲港沖に向け航行中、水深が深いので高速で航行していた。</p> <p>船長は、出港後、燃料油量を点検しなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、三池港内を航行中、燃料切れとなったため、機関の運転ができなくなったものと考えられる。</p> <p>本船は、長洲港沖へ高速で移動したことから、通常時よりも燃料消費量が多かったものと考えられる。</p> <p>船長は、出港時、燃料油量が通常使用時の約1.5～2倍あるので、燃料切れを起こすことはないと思込み、その後同油量の点検を行っていなかった可能性があると考えられる。</p>

原因	本インシデントは、本船が、三池港内を航行中、燃料切れとなったため、機関の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。
----	--